



令和5年11月号

宗教法人 お告げのマリア修道会

聖マリア病院

●TEL:0959-72-5101

●FAX:0959-74-1771

●URL:<https://g-maria.jp/>  
〒853-0052

長崎県五島市松山町 133-2



## マリアの風 web

平和のために何をすればいいですか？

院長 山中 淳子

また、新たな戦争が始まりました。毎日ニュースの始めは戦争のことです。戦争の始まる原因は複雑で深刻で取り除けない困難があって、結果、武力行使の選択ということになるのでしょうか、いかなる理由であれ、そこに多数の失われる命があるということが耐え難く痛ましいのです。ニュースで報じられている内容は、戦争になると現代でもこのような悲惨さを強いられるのかと驚愕することばかりです。

平和のため、自国を守るため、日本は防衛費を増やすと言っていますし、武器は世界中を流通しています。武器とは人の命を奪う道具です。そのようなものが大義名分のもと世の中で扱われていることや、このような社会

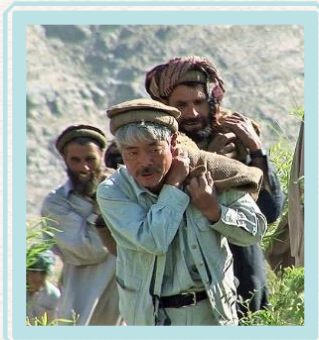
構造に、もどかしさを感じます。平和のために私は何をすればいいのでしょうか、日々悩んでいます。国と国との関係、つまりは人と人との関係です。国を治める人の心から敵意が取り除かれるように願いますが、そのためには私達一人ひとりの中にある敵意や不満に負けず耐え抜くことが求められます。戦争の原因は遠くにあるのではなく、私の中の小さな不満や赦せない心から始まっているのだと思います。紛争の最中で恐怖におののいている方々のことを考えると苦しくてたまりません。平和のために私ができること、それは私の周りにいる人を大切にすること、意見の相違はあっても相手を認め、話を聞き、理解しようとする事。目に前にいる相手とのコミュニケーションの連鎖が平和、あるいは戦争に繋がって行くように感じます。平和の担い手としての覚悟が必要です。

10月8日  
『荒野に希望の灯を  
ともす』上映会  
於：福江文化会館

## 聖マリア病院設立 75 周年事業

report

あいにくの雨  
の中ではありません  
でしたが、たくさんの方  
に足を運んで  
いただき感動を  
分かち合うことが  
出来ました。



10月12日  
記念ミサ  
於：カトリック福江教会



movie



mass

現職員に加え、退職した職員も参加して感謝のミサを捧げました。

10月12日 聖マリア病院設立 75 周年 祝賀会  
於：はたなか



celebration party



来賓の方からのあいさつに続き、勤続年数の長い職員へ記念品が贈られました。新入職員やシスターズの出し物、ゲームなどで終始穏やかなひと時を過ごしました。

聖マリア病院設立 75 周年記念ミサの中で語られた中田神父様のお話です。  
(都合により、一部を省略し編集しています。)

## —希望を、聖マリアの取次ぎのもと告げよう—

聖マリア病院設立 75 周年の記念ミサを迎えることができました。これまでの聖マリア病院の歩みに関わってくださったすべての関係者の皆さんに敬意を表します。

お一人おひとりが、与えられた持ち場で誠実に務めを果たした、その積み重ねが聖マリア病院の今を形づくっています。歴史の一ページに立ち会えたことを誇りに思い、感謝しましょう。

朗読されたルカ福音書の箇所結びに「天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」(ルカ 11・13)とありました。聖マリア病院のこれまでの歩みに、常に聖霊が与えられていたのではないかと思います。目の前の課題があり、予想される困難があり、決して平坦な道ではなかったはずですが、いつもその時々の人たちが「乗り越えさせてください」と願い求め、そのたびに聖霊が与えられて乗り越えることができたわけです。

聖霊は、御父と御子の愛です。神は人間をこよなく愛しておられるので、ご自分の愛をあふれるほどに注いでくださいます。神の愛である聖霊は、知恵と理解、判断と勇気となって、私たちの生活上の問題を照らし、導いてくださるのです。暗闇の中にある時、照らしがあれば必ず道は開けます。

75 年を無事に迎えることが出来ました。しかし、聖マリア病院の使命が完了したわけではありません。これからも長く、地域の人々に貢献することが期待されています。医療活動で地域の人々に奉仕するわけですが、それを聖書のなかの言葉で言い表すとしたら、どのような言葉になるでしょうか。ルカ 17 章 19 節で、重い皮膚病が癒された人にイエスがかけられた言葉があります。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」ここにお集まりの皆さんも、聖マリア病院を通して出会ったすべての人に、「立ち上がって行きなさい」と声をかける。それが、これからも変わりなく続く働きなのではないかと思っています。病を患う人にも、この世の生涯を終えて旅立つ人にも、あらゆる手を尽くして、希望を伝える医療機関であってほしいと願います。

希望を伝えるために、これからも天の父は求める者に聖霊を与えてくださいます。そして皆さんを常に温かく見守っておられる聖マリアが、私たちの願いを父なる神に取り次いでくださいます。

## 研修医紹介

久留米聖マリア病院より研修医が来ていますのでご紹介します



高津 利幸先生  
Takatsu Toshiyuki

①出身地：熊本県

②趣味・興味のあること：

スポーツ観戦、フットサル、旅行

③志望科：腎臓内科

④研修期間：令和5年10月8日～12月2日

⑤聖マリア病院での抱負：

人生の中で忘れられない2か月にしたいです

⑥患者さん、スタッフの皆さんへ：

不慣れな点も多く、ご迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張ります。



## ある日のひとこま



病院周囲のゴミを

拾う地域清掃活動が

ありました。秋晴れの中、丸木公園まで歩きゴミ袋5つ程のゴミを回収しました。ゴミの中からハートの形の葉っぱがでてきました。

## ありがとうコーナー



1階ロビーには  
聖マリア病院設立  
75周年に合わせ、  
お祝いでいただい  
た胡蝶蘭の鉢が並  
んでいます。温かい  
お心遣い、ありがと  
うございます。



## お知らせ・病院カレンダー

- ・11月4日(土) 13時30分 追悼ミサ
- ・11月10日(金) 15時 防火訓練
- ・11月23日(木) 10時30分 まごころひろば  
インフルエンザの予防接種の予約が始まっています



長崎県でも、令和5年第42週(令和5年10月16日から令和5年10月22日)の定点医療機関あたりのインフルエンザの患者報告数(平均患者数)が「13.09」となり、今シーズン2回目のインフルエンザ流行注意報が発表されました。基本的な感染予防対策を呼びかけています。

必要な方へ  
必要なものを  
届けたい！



# まごころ ひろば



まごころひろばは、たくさんの方から寄せられたものを  
定期的に無料でお渡しする活動です。  
いただいた募金で購入したものも合わせて、  
無料でお渡しします。  
どなたでもお越しください。お待ちしております。



日時：2023年11月23日（木）  
午前10時30分～12時

\*今回は、午前開催になります。  
前回までとは開催時間が異なり  
ますのでご注意ください。

場所：福江修道院 ガラージ  
(聖マリア病院そば)

\*お車でお越しの方は、聖マリア病院  
駐車場をご利用ください。  
\*雨天時は、小規模で聖マリア病院ロ  
ビーでの開催予定です。

## 編集後記

『人々の人権を守るために』と空爆で人々を殺す。彼らは殺すために空を飛び、我々は生きるために地面を掘る。彼らはいかめしい重装備、我々は埃だらけのシャツ一枚だ。彼らは死を恐れ、我々は与えられた生に感謝する。(中村哲医師の手記より)

いつの時代も、権力と支配欲を追い求める為政者たちがいる一方で、どんな境遇の中でも、自分の生業に励み日々を暮らす人々がいます。自己主張の強い人が社会を動かしているかのよう  
に思われますが、不必要な情報に振り回されることなく、些細な喜びを感じながら、自分のやるべきことを果たす人の姿にこそ、社会を変える力があると思います。(編集者)